

出発前に 「留学成長力」を高めれば グングン「成長」できます!

いきなり厳しいことを言うようですが、
「留学したら誰でも英語がペラペラになる」というのは、“一種の妄想”です。短期間でみるみる成長できるA子さんもいれば、なかなか成長できないBさんもあります。その違いは「社交性」「計画性」「集中力」の3つの力です。この3つ全てが備わっている必要はありません。どれか一つ高ければ「留学成長力」の高い人と言えるでしょう。診断テストで「留学成長力」が低めだった人も、これからお話する、留学前に「留学成長力」を高める方法を意識すればきつと「成長」を実感することができます。

まずは、ベーシックな方法ですが、英

語の基礎力を身に付けること。「行けば何とかなる」と思っている人も多いようですが、実際行ってみて「こんなになんかわからないなんて……」と愕然とする人は意外に多いもの。そうすると、英語への恐怖心が増し、無駄な時間が経ってしまいます。そうならないためにも、出発前に昔の教科書や参考書で、復習をしておきましょう。どれくらい実力が付いたかよりも、努力したという自信をつけて留学することが大切です。自信があれば心に余裕ができて、いろいろなことを吸収しやすくなるのです。

次に、「心の壁」を取り払い、積極的に人に話しかけるよう心がけてみましょう。日本でも海外でも、友達作りが上手な人は、「心をオープンにしている人」。初対面でいきなりうまく話ができる人はなかなかいないし、留学の場でも英語はできなくて当然、勉強しに来ているのだから、と肩の力を抜けばいいのです。そうすれば、あなたをまとう雰囲気も柔らかくなって、たくさんの人とコミュニケーションしやすくなるはずですよ。

出発前にこういったことを意識することで「留学成長力」は自然と高めることができます。あとは、留学本来の目的を忘れずにいれば、あなたの目指す「成長」を手に入れることができるはずですよ。

作家・生井利幸さん

旧建設省認可財団法人参与、米ペンシルベニア州ラファイエット大学講師、オランダ王国国立フローニンゲン大学法学部客員研究員等を歴任。現在は、作家として、



哲学・思想、人生論、話し方、ビジネス・コミュニケーションなどについて執筆・講演を行う一方、企業等の顧問も務める。

